

支援に関わる皆様へ



結核は昔の病気ではありません。
結核を発症する方の約半数が高齢者で、若年層の割合も増えてきています。
発見が遅れると入院が必要となり、ADLの低下や就労への影響があります。
そのため早期発見が大切です。

結核について

○結核は空気感染です。

結核患者が排菌した結核菌を吸い込むことで感染します。すべての結核患者が他人に感染させるわけではありません。重症化した方と換気の悪い空間に長時間過ごすことで感染の可能性が高まります。

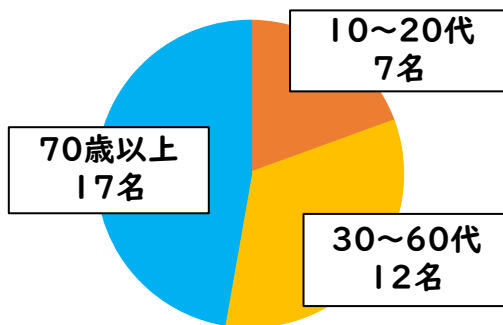
○症状は、

2週間以上続く咳・痰、発熱・微熱、胸痛、倦怠感、食欲不振、体重減少、首の腫れ などです。

○過去の感染がもとで免疫力が低下した際に発病することもあります。

○医師の指示通りにきっちり服薬することで治すことができます。

令和7年に新たに結核と診断された患者36名の年齢構成



皆様をお願いしたいこと

★典型的な症状を呈しないこともあります。

普段の様子と違うことが続く場合は

医療機関の受診や、かかりつけ医への相談を促しましょう。

★症状がなくても年1回は定期健康診断を受診するよう促しましょう。

精密検査の受診勧奨や、管理者の方は検査結果の把握もお願いします。



©2014 大阪府もずやん

茨木保健所
YouTube動画→



茨木保健所
HP→



ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。